

私のメイドは
いつもかっこいい

クールで優しくて
気遣いもできて
なんでも完璧にこなす

お嬢様
昼食のお時間です

どうぞこちらへ…

少し話すだけで
ついドキドキ
してしまう…

足元にお気をつけください

うん

ありがとう…

ちょっと無口だけど
そんなところもいい…

…いえ

だけど…
そんな彼女だからこそ…

ドキ
ドキ…



可愛いところや...
知らない一面も
見てみたくなっちゃう

ねえ
ちよつといい?

そんな思いから
ちよつと魔がさした...

はい

えいっ

ふふ...
びっくりするかな?

あれ?
反応がない...

もしかして
怒られちゃうかな...?

いっ にっ



かあああ

…へっ？

ひん

ふふ

お…お嬢様？
んっ…

お嬢様…
ちよっと…

！

きゅんっ

えっ…なにこの
予想外の反応…

もっと冷静に
あしらわれると
思ってたのに…

は恥ずかしいですよお…

すごく可愛い…！
かっこいいのもいいけど
これはこれで好き…！

これ以上は
本当にダメ…

お願い…
あとちょっとだけ…

んっ

えへへ
可愛い…

うう…
本当に少しだけ
…ですよ？

知ってしまった
可愛い一面に

さらに心が
奪われてしまった…

ダメだよ…
こんなの我慢
できるわけない…



あっ
やっぱり…
恥ずかしいですよ…!

あっ…

ん

どんどん気持ち
抑えられなくなってしまう



えへへ…
ここ弱いんだね…



こうしてされるが
ままになってる姿を
見てると…

…お嬢様



お嬢様あ…

あっ…

びくん

そこ…

ダメ…

ひゃっ!?

ちゅーっ

そんなに
恥ずかしいなら

私のも触っていいよ?

お...おお

お嬢様!

嫌だったら
止めるけど...

どうするのっ...

その...

やめたくない

...です

ダメ...
反応の全てが
可愛すぎる...

ちゅっ...

んんっ!

ちゅっ

私だけが知ってしまった
可愛い姿...もっといっぱい
感じさせて...?











